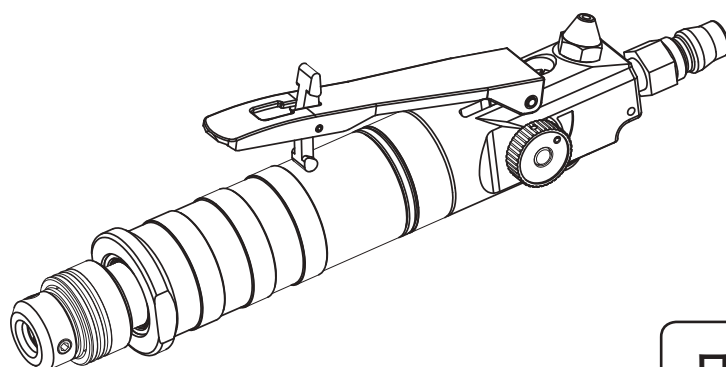


取扱説明書

BURR CUTTER

バリカッター

型式：BC-005



日本国内用

《仕様》

型式		BC-005
使用空気圧力	MPa	0.6
無負荷空気消費量	m ³ / min	0.22
無負荷最高回転数	min ⁻¹	420
本体質量	kg	0.75
音圧レベル ※ 1	dB (A)	88.8
音響パワーレベル ※ 1	dB (A)	99.8
振動レベル ※ 2	m/s ²	4.2

※ 1 測定規格 ISO15744 による

※ 2 手持ち工具の周波数補正振動加速度実効値の 3 軸合成値測定規格 ISO20643 による

- ご使用前に、正しく安全にお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ見ることができる場所に保管してください。

- ・ 改良のため、仕様および形状等は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- ・ Please visit the following URL if you need English version instruction manual for this tool.
<http://www.nitto-kohki.co.jp/e/prd/tool/index.html>

はじめに

このたびは、日東工器の製品をお買い求めいただき、ありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しく効率的に作業することをお願いいたします。
なお、この取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができる場所に保管してください。

次の注意喚起シンボルの意味を十分に理解の上、この取扱説明書をよくお読みください。

	警告： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注意： 製品の据え付け、操作、メンテナンスに関する重要な注意

ピクトグラムについて

 **警告：** 取り扱いの指示に従わない場合、工具の使用において危険を生じることがあります。



本工具を不適切に使用すると重大な事故やけがの原因になります。工具の使用前に本取扱説明書を読んでください。

目次

使用上の注意事項（必ずお守りください）.....1	回転数の調整.....9
《工具全般》.....1	フックの取り付け.....9
《空気工具全般》.....4	6 使用方法.....9
《本機に関する注意事項》.....4	バリ取り作業.....9
1 用途.....5	エアダスタ作業.....10
2 梱包内容の確認.....5	7 保守・点検.....11
3 各部の名称.....5	工具の保管.....11
4 空気供給.....6	処分.....11
5 準備.....7	8 別売品.....11
取り付け可能面取りカッター寸法.....7	9 部品の注文.....11
始動と停止.....7	
面取りカッター取り付け・取り外し.....8	
アタッチメントの取り付け・取り外し.....8	

California Proposition 65

WARNING

Some dust created by power sanding, sawing, grinding, drilling, and other construction activities contains chemicals known [to the State of California] to cause cancer birth defects or other reproductive harm.

Some examples of these chemicals are:

- Lead from lead-based paints,
- Crystalline silica from bricks and cement and other masonry products, and
- Arsenic and chromium from chemically-treated lumber.

Your risk from these exposures varies, depending on how often you do this type of work. To reduce your exposure to these chemicals: work in a well ventilated area, and work with approved safety equipment, such as those dust masks that are specially designed to filter out microscopic particles.

使用上の注意事項（必ずお守りください）

本機をご使用になる場合は、けががないように後述の基本的な安全対策を行なってください。

《工具全般》

作業される方へ

⚠ 警告

- **作業に適した服装をしてください。**

可動部分にからまると危険ですので、ルーズな服装や装飾品をつけて作業をしないでください。滑りにくい靴を履いてください。また長髪の方は、髪が完全に収められる保護帽を着用してください。

- **常に保護メガネを着用してください。**

視力矯正用のメガネは、保護メガネとはいえません。作業に適した保護メガネを着用してください。

- **防じんマスクを着用してください。**

作業で粉じんなどが発生する場合は、防じんマスクを着用してください。

- **集じん装置や集じん設備を正しく使ってください。**

集じん装置や集じん設備がある場合は、これらの装置が接続され、正しく使用されているか確認してください。集じん装置の使用は、粉じんによる危険を減らすことができます。

- **大きな騒音を発する場合は、耳せんを着用してください。**

- **無理な姿勢での作業はやめてください。**

適切な足場で、バランスのよい姿勢で作業してください。

- **油断せずに作業を行ってください。**

疲れているときは使用をやめてください。

工具を使用するときは取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況などを十分注意して慎重に作業してください。

- **作動中の先端可動部には、絶対に触れないでください。**

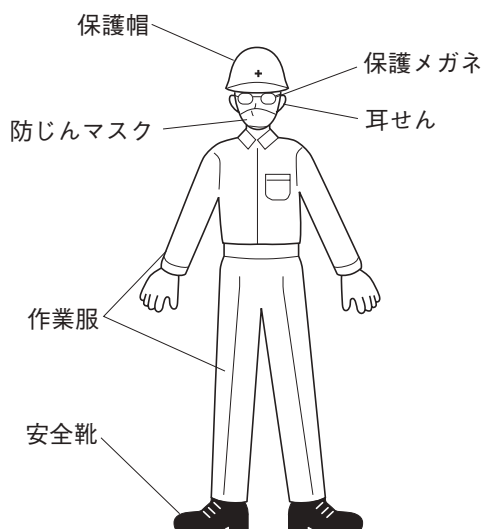
また、作動中の先端可動部を、人や動物に向けしないでください。

- **工具の振動や反動に注意してください。工具の中には、相当の振動を感じるものがあります。**

作業の内容や工具の設定、長時間の作業によっては、手や腕、身体に大きな負担がかかります。

振動障害や腱鞘炎などのおそれがありますので、長時間の使用は避け、適度に休憩をとってください。

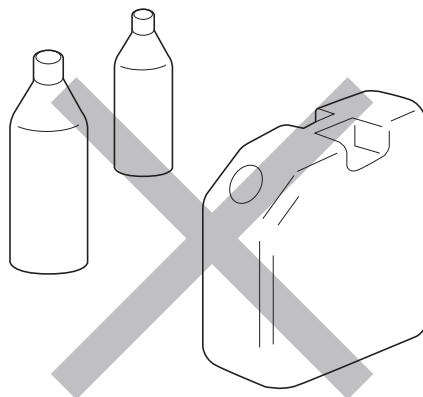
使用中に不快感や苦痛を覚えたときは作業を中断し、医師の診断を受けてください。



作業場所について

⚠ 警告

- **家庭で使用しないでください。**
本機は、プロフェッショナル工具（工業用、業務用の作業工具）です。家庭に持ち帰って使用しないでください。
- **作業場所は、きれいにしてください。**
散らかした場所や作業台での作業は、事故をまねきます。
- **作業場所に注意してください。**
工具を雨にさらさないでください。
濡った場所や濡れた場所で工具を使用しないでください。
作業場所は、十分に明るくしてください。
- **引火性の液体（シンナー、ラッカー、ガソリン等）の近くや、ガスなど爆発性の雰囲気での作業は絶対にしないでください。**
- **子供を作業場所に近づけないでください。**
子供や作業関係者以外の人を作業場所へ近づけないでください。
- **工具の中には大きな音を出すものがあります。**
各地の騒音規制に適合しているか、必ず確認してください。
- **高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。**
工具や材料を落としたときなど、事故やけがの原因となります。
- **作業場所に電線管や水道管、ガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
埋設物があると工具が触れ、感電や漏電、ガス漏れのおそれがあり、事故の原因となります。



作業前に

⚠ 警告

- **工具を使用する前に点検を行なってください。**
使用前に工具のねじなどがしっかり締まっているか、保護カバーやその他の部品に損傷がないか点検し、正常に作動するか、所定の機能を発揮するか確認してください。
可動部分の位置調整や締付け状態、部品の損傷、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に修理を依頼してください。
作動スイッチで始動・停止ができない工具は、使用しないでください。
- **先端工具は確実に取り付けてください。**
先端工具の取り付けが不十分だと、飛び出し、破損などでけがの原因となります。
- **調整後は、スパナやレンチなどを必ず取りはずしてください。**
- **適切な工具を使用してください。**
工具やその部品の能力を超えるような重作業はしないでください。また本来の用途以外で使用しないでください。
- **無理な使い方をしないでください。**
工具は仕様どおりに使うことで、効率よく安全に使うことができます。
- **加工物は固定してください。**
加工物はバイスやクランプで固定してください。加工物を手で持つより安全であり、両手で操作することができます。

取り扱いについて

⚠ 警告

- **工具の保管方法**

工具を使用しないときは、乾燥した場所に保管してください。また、子供の手の届かない場所に保管してください。

工具によっては、保管温度や湿度が決まっています。適切な場所に保管してください。

- **持ち運びに注意してください。**

工具の作動スイッチに手をかけて持ち運ばないでください。

- **工具を作動させたまま放置しないでください。**

作動スイッチを切って動力源からはずし、完全に停止するまで作業場所を離れないでください。

- **工具が以下の薬品に触れないようにしてください。部品が劣化するおそれがあります。**

アセトン、ベンジン、シンナー、ケトン、エーテル、トリクレン、その他同類の薬品

保守・点検

⚠ 警告

- **分解や改造をしないでください。**

分解や改造を行なった工具の使用は、事故やけがの原因となります。

- **先端工具・附属品などを点検してください。**

先端工具・附属品などは、工具に取り付ける前に損傷、劣化がないことを必ず確認してください。

損傷、劣化がある場合は交換、またはお買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に修理を依頼してください。

- **破損した部分がないか点検してください。**

附属品やその他部品が破損していないか、工具が正常に作動するか、適切に作業できるか十分に確認してください。

破損や作業に支障をきたす附属品や部品があったときは、お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に修理を依頼してください。

- **専門店で修理を依頼してください。**

修理、または部品の交換は、お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に依頼してください。

修理には専門の知識や技術が必要です。専門店以外での修理は十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

修理は故障した状態のまま依頼してください。破損した部品は捨てずに修理を依頼してください。故障原因を調査する重要な情報となりますので、手を加えないでください。

- **純正部品を使用してください。**

不適切な部品を使用すると事故やけがの原因となります。

純正部品に関しては、取扱説明書、カタログに記載されています。お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店にお問い合わせください。

- **工具についているラベル、銘板をはがさないでください。**

ラベル、銘板が傷ついたり、はがれたりしたときは、お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店に連絡し交換してください。

《空気工具全般》

⚠ 警告

- **適正な空気圧力で使用してください。**
空気圧が高いと回転数・往復数が速くなり、早期の破損や磨耗等の故障の原因になります。また、思わぬ事故をまねくことがあります。
- **空気配管に接続してください。**
工場によっては、酸素、窒素、ガス等の空気以外の配管が設置されている場合があります。配管の接続時は、必ず確認してください。
- **不用意に始動しないでください。**
作動スイッチをオフしてから、接続ホースに工具をつないでください。
- **附属品の取り付け、取りはずし、工具のメンテナンス時は、必ず接続ホースから工具をはずしてください。**
- **排気に注意してください。**
空気工具の排気は、油やドレイン等が含まれています。排気が直接顔や周囲の人に当たらないよう、排気方向に注意してください。
- **電気に接触させないでください。**
空気工具は、電気との接触に対して絶縁されていません。感電のおそれがありますので、電気に接触させないでください。

⚠ 注意

- **工具はていねいに取り扱いってください。**
乱暴な取り扱いは、事故や故障の原因となります。工具を投げたり落したり、衝撃を与えないようにしてください。
- **接続ホースはていねいに取り扱いってください。**
接続ホースを持って工具を運んだり、引っ張って取りはずしたりしないでください。

《本機に関する注意事項》

⚠ 警告

- **身体を切粉から保護してください。**
作業時には熱くなった切粉が飛散します。作業時は保護メガネ、保護衣（皮手袋、長袖の作業着等）で身体を保護してください。また、本体の使用中に顔を近づけないでください。
- **人体にダスターノズルを向けて使用しないでください。**
- **エアダスタを使用するときは、スロットルレバーを OFF（切）の状態にしてください。**

⚠ 注意

- **本機はプッシュスタート式です。**
作業を行なう前に必ずスロットルレバーを ON にし、モータを始動させてから被加工物に面取りカッターを押し当ててください。
- **使用可能な面取りカッターのシャンク径は 3 種類です。シャンク径が適合しないものは使用しないでください。**
- **より良い作業と安全のために磨耗や破損した面取りカッターは使用しないでください。**
- **カブラから接続ホースをはずした際、切粉等がカブラから入らないように注意してください。**

1 用途

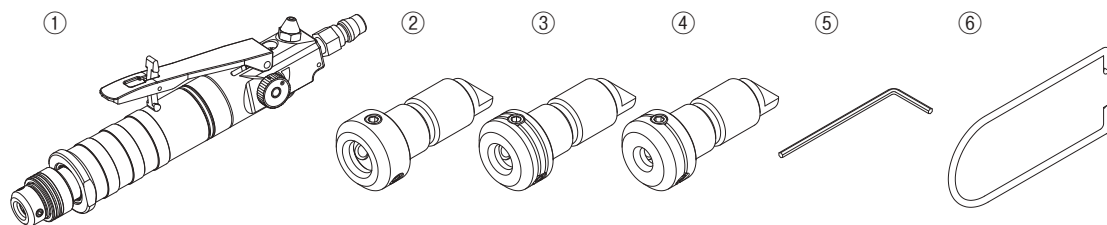
本機は面取りカッターを用いて、穴のバリ取り作業をするための空気式手持ち工具です。
本機には、作業中に発生する切粉などを吹きとばすエアダスタを備えています。

2 梱包内容の確認

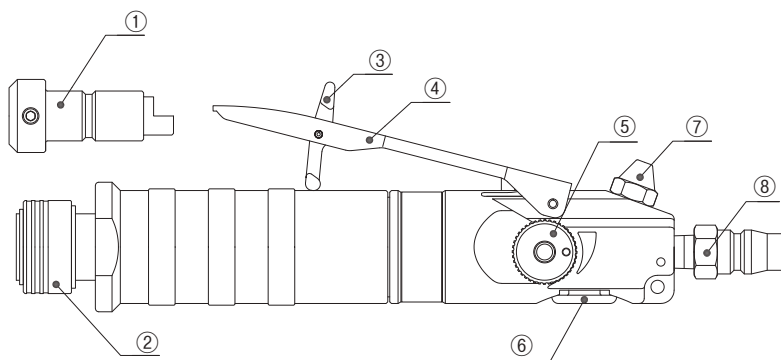
梱包箱を開封したら、梱包内容の確認と、輸送中の事故などにより製品が破損していないか確認してください。
万一異常が生じていた場合は、お買い求めの販売店またはお近くのサービス日東会加盟店にご相談ください。

	梱包内容・附属品	数量	チェック
①	BC-005 (本体)	1	
②	アタッチメント 10Ass'y (本体に装着済み)	1	
③	アタッチメント 8Ass'y	1	
④	アタッチメント 6Ass'y	1	
⑤	6 角棒スパナ 2.5	1	

	梱包内容・附属品	数量	チェック
⑥	フック	1	
⑦	取扱説明書 (本書)	1	
⑧	総合カタログ	1	
⑨	アンケートはがき	1	
⑩	エアー工具使用上の注意	1	



3 各部の名称



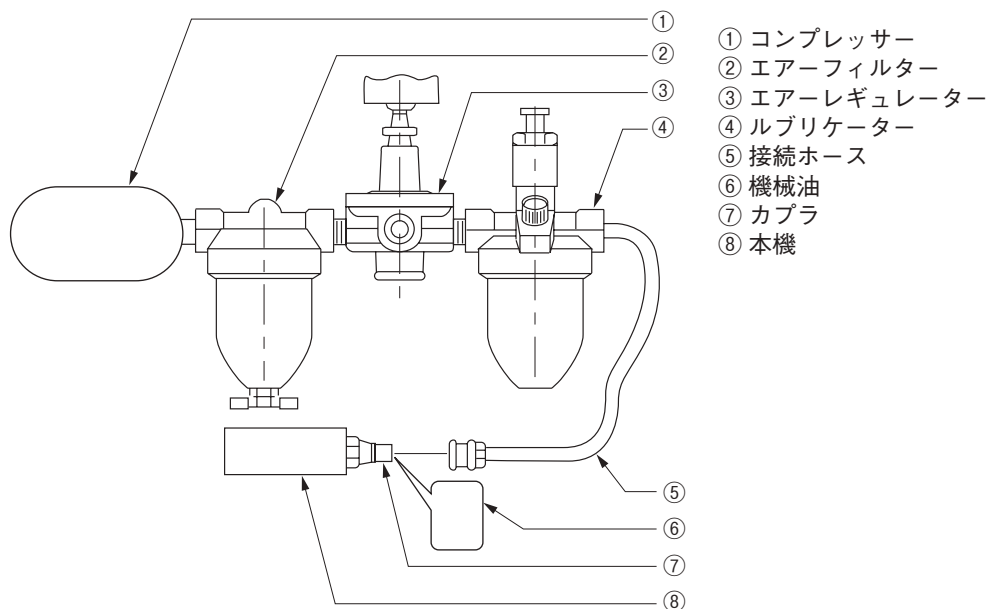
- ① アタッチメント
- ② スリーブ
- ③ ロックレバー
- ④ スロットルレバー
- ⑤ アジャストバルブ
- ⑥ ダスターボタン
- ⑦ ダスターノズル
- ⑧ カブラ

4 空気供給

⚠ 注意

● 始業前に、ドレンの除去を行なってください。

工具内にドレンが入ると排気口付近が凍結し、出力低下の原因となります。



使用空気圧力

空気圧力は、0.6MPa で使用してください。圧力が低すぎると所定の性能を発揮できません。また、高すぎると各部の損傷をまねきます。エアレギュレーター (③) を使用して、適正圧力に調整してください。

エアライン

コンプレッサー (①) と本機 (⑧) の間には、内径 9.5mm (3/8") の接続ホース (⑤) を使用してください。圧縮された空気は、コンプレッサーから出ると冷却され、水分が分離します。水分の一部が接続ホース内で凝縮されて工具の内部に入り込み、故障の原因となるおそれがあります。コンプレッサーと工具の間には、エアフィルター (②) とルブリケーター (④) を装着してください。

機械油

コンプレッサーと工具の間にはルブリケーターを取り付け、必ず機械油 (ISO VG-10) を使用してください。注油を怠ると、工具の損傷の原因となります。また、粘度が高い油を注油すると、性能低下の原因となります。

給油

毎日の作業前に、接続ホースをはずしてカプラ (⑦) から本機に機械油 (ISO VG-10) を数滴給油 (⑥) してください。給油後に接続ホースをつなぎ、数秒間の空運転を行なって工具全体に油をなじませてください。

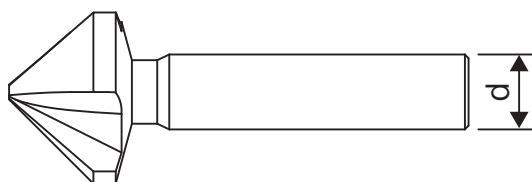
5 準備

⚠ 警告

- 作業中は必ず保護メガネをご使用ください。また、ほこりが出る場合には防塵マスクもご使用ください。
- 工具を接続ホースに差し込む前にスロットルレバーが OFF（切）の状態になっていることを確認してください。
- 面取りカッターや部品の交換の際には必ず工具を接続ホースからはずしてください。
- 作業中の可動部には手を触れないでください。

取り付け可能面取りカッター寸法

附属アタッチメントに取り付け可能な面取りカッターのシャンク径は 3 種類です。



※面取りカッターは市販品をご使用ください。

アタッチメントーシャンク径 適合表

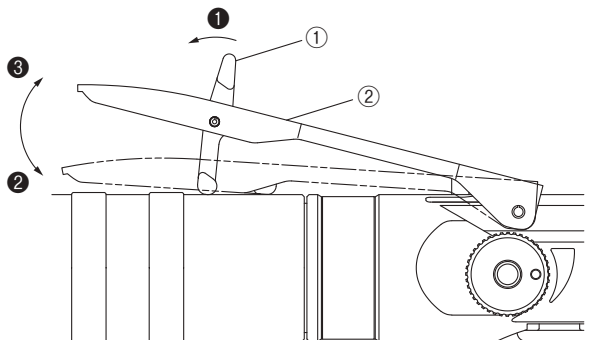
部品名		シャンク径 d (φ mm)
アタッチメント 10		10
アタッチメント 8		8
アタッチメント 6		6

始動と停止

⚠ 注意

- 本機はプッシュスタート式です。

- 1 スロットルレバー (②) が OFF（切）の状態になっていることを確認し、本機のカブラに接続ホースを差し込みます。
- 2 本体を持ち、① ロックレバー (①) を前方に押しながら② スロットルレバー (②) を倒すとモーターが始動します。
※この状態では面取りカッターは回転しません。
- 3 ③ スロットルレバー (②) から手を離すと、自動的に OFF（切）の状態に戻ります。



- ① ロックレバー
② スロットルレバー

面取りカッター取り付け・取り外し

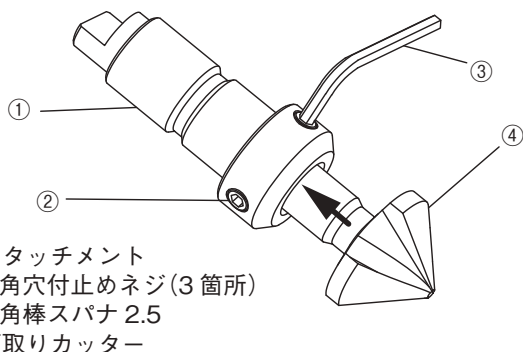
⚠ 警告

- 面取りカッター取り付け・取り外しの際には必ず接続ホースをはずしてください。
- 面取りカッターの交換時は手袋を着用してください。
- 加工直後、面取りカッターは大変熱くなっているおそれがありますので十分注意してください。

⚠ 注意

- シャンク径に適合したアタッチメントを使用してください。適合しないものは使用しないでください。
- 面取りカッター挿入部に切粉が入らないように注意してください。切粉が入った場合、切粉を確実に取り除いた後、アタッチメントを取付けてください

- 1 使用する面取りカッター (④) のシャンク径に合ったアタッチメント (①) の六角穴付止めネジ (②) を、附属の六角棒スパナ 2.5 (③) で3箇所ゆるめめす。
- 2 面取りカッター (④) のシャンク部をアタッチメント (①) の奥まで挿入し、六角穴付止めネジ (②) を3箇所確実に締め付けます。
- 3 取り外すときは六角穴付止めネジ (②) を3箇所ゆるめ、面取りカッター (④) を抜き取ってください。



アタッチメントの取り付け・取り外し

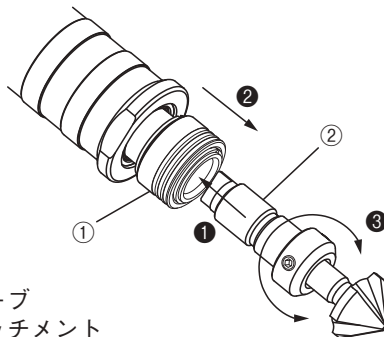
⚠ 警告

- アタッチメント取り付け・取り外しの際には必ず接続ホースをはずしてください。
- アタッチメントの交換時は手袋を着用してください。
- 加工直後、面取りカッターは大変熱くなっているおそれがありますので十分注意してください。

⚠ 注意

- アタッチメント挿入部に切粉が入らないように注意してください。切粉が入った場合、切粉を確実に取り除いた後、アタッチメントを取り付けてください。

- 1 ①アタッチメント (②) を本機に差し込みます。
- 2 ②スリーブ (①) を引き下げた状態にし、③アタッチメント (②) を回しながら押し込むと奥まで挿入されます。
- 3 スリーブ (①) から手を離すと元の状態に戻り、アタッチメント (②) がロックされます。
※スリーブ (①) が下がった状態のままでは、ロックされていません。
- 4 取り外すときはスリーブ (①) を引き下げた状態でアタッチメント (②) を抜き取ってください。



回転数の調整

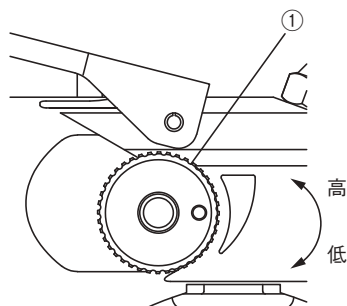
⚠ 警告

- 作業中の可動部分には手を触れないでください。

アジャストバルブ (①) をまわすと空気流量が変わり、回転数を調整することができます。

最高回転位置はアジャストバルブ (①) を最も反時計方向に回した位置です。作業に応じて回転数を調整してください。

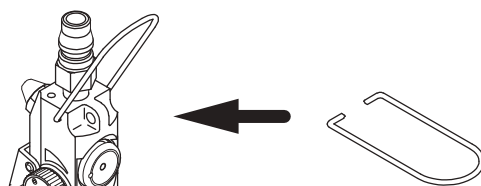
※アジャストバルブ (①) をしばった場合、モータは始動しません。



① アジャストバルブ

フックの取り付け

本機を吊り下げるためのフックをご利用ください。



6 使用方法

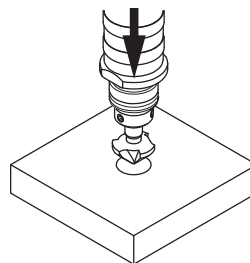
バリ取り作業

⚠ 注意

- 本機はプッシュスタート式です。

作業を行なう前に必ずスロットルレバーを ON にし、モータを始動させてから被加工物に押し当ててください。押し当てた状態でスロットルレバーを ON にしたり、被加工物に急激に刃物を押し当てたりすると、刃物が破損する原因となります。

被加工物を固定し、スロットルレバーを ON にした状態で面取りカッターを被加工物の穴に入れ、ゆっくり押しつけます。



エアードスタ作業

⚠ 警告

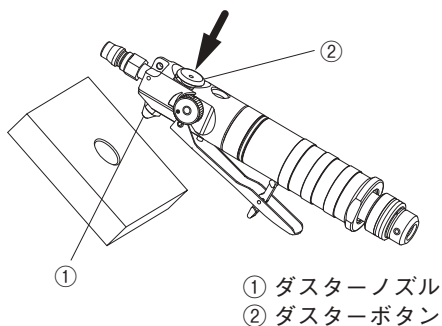
- エアードスタを使用するときは、スロットルレバーを OFF（切）の状態にしてください。
- 人体にダスターノズルを向けて使用しないでください。

⚠ 注意

- 本体に給油した直後、エアードスタを使用するとダスターノズルから油が噴き出す恐れがあります。油がかかっても支障のない所で試し吹きしてから作業してください。

本体をしっかりと持ち、対象物にダスターノズル（①）を向けた状態でダスターボタン（②）を押します。

※ダスターノズル（①）のねじサイズは G 1/8 です。市販ノズルに変更可能です。



7 保守・点検

工具の保管

以下の警告・注意に従って工具を保管してください。

⚠ 警告

- 工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。

⚠ 注意

- 工具を使用しないときは、湿気の少ない場所に保管してください。
- 作業終了後は、機械油（ISO VG-10）を工具のカプラから注油し、少し作動させてから保管してください。使用したままの状態で放置すると空気中の湿気が本体内部に残り、さびが発生しやすくなります。

処分

- 工具や附属品、梱包資材は、環境にやさしい資源リサイクルのために分別しましょう。
- 工具を処分する際は、各自治体のルールに従って処分してください。

8 別売品

標準附属のアタッチメントのほかに、以下のアタッチメントをご用意しています。用途に合わせてご使用ください。

部品番号	部品名
TB09876-0	アタッチメント 12Ass'y

9 部品の注文

部品や別売品のご注文の際は、部品番号・部品名・個数をお買い求めの販売店へご連絡ください。